

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第19期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	ワイエスフード株式会社
【英訳名】	Y.S.FOOD CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 緒方 正憲
【本店の所在の場所】	福岡県田川郡香春町大字鏡山字金山552番8
【電話番号】	0947(32)7382（代表）
【事務連絡者氏名】	管理本部長 岩下 征吾
【最寄りの連絡場所】	福岡県田川郡香春町大字鏡山字金山552番8
【電話番号】	0947(32)7382（代表）
【事務連絡者氏名】	管理本部長 岩下 征吾
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第18期 第2四半期 連結累計期間	第19期 第2四半期 連結累計期間	第18期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (千円)	1,491,220	1,123,019	2,842,434
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	1,997	2,475	14,640
四半期(当期)純損失 ( ) (千円)	55,075	28,601	200,418
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	54,774	24,421	189,182
純資産額 (千円)	2,183,799	2,024,969	2,049,391
総資産額 (千円)	4,360,179	4,130,185	4,118,461
1株当たり四半期(当期)純 損失金額 ( ) (円)	1,475.38	766.19	5,368.82
潜在株式調整後1株当たり四 半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	50.1	49.0	49.8
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	30,619	23,972	139,464
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	55,197	46,588	127,641
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	200,649	84,136	76,504
現金及び現金同等物の四半期 末(期末)残高 (千円)	630,282	604,058	542,538

回次	第18期 第2四半期 連結会計期間	第19期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額 ( ) (円)	791.85	201.39

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や経済政策効果により緩やかに回復の兆しが見られたものの、欧州金融問題や電力の安定供給への不安、電力料金値上げによる景気減速懸念に加え、天候不順等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食事業におきましても、消費者の生活防衛意識が払拭されず、外食市場での低価格競争、企業間における顧客獲得の激化等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、接客マナーの向上、店舗クリーンネスの徹底による店舗体質の改善はもちろん、社員独立支援を積極的に行い固定費の圧縮を図るとともに、海外への店舗展開を確実に進めてまいりましたが、7月の九州北部豪雨災害など天候要因の影響もあり、国内の個人消費の低下を十分に補うことが出来なかった結果となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,123百万円（前年同四半期比24.7%減）の減収となり、利益面では、計画通りの固定費を圧縮できたものの、売上高の減収に伴う影響により、営業利益2百万円（同69.1%減）、経常損失2百万円（前年同四半期は経常利益1百万円）の減益となりました。

当四半期純損益は、法人税等24百万円の影響により、四半期純損失28百万円（前年同四半期は四半期純損失55百万円）となりました。

今後は、上期の対策を継続して行うと同時に、海外への出店を引き続き展開することで、更なる企業体質の強化を図ってまいります。

報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### （外食事業）

当第2四半期連結累計期間における外食事業におきましては、全国誌を媒体にしたキャンペーン及び新メニューの導入を実施することでブランディングの向上を図り、店舗モニタリングの継続と接客マナーの向上、店舗クリーンネスの徹底に積極的に取り組み、店舗体質の改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の店舗状況は、新規出店が9店舗（F C店2店舗、海外7店舗）、契約満了を含む店舗の閉鎖が10店舗（直営店1店舗、F C店7店舗、海外2店舗）、直営店からF C店へ変更した店舗が9店舗あったことから、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末に比べ1店舗減少して152店舗（直営店18店舗、F C店112店舗、海外22店舗）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,042百万円（前年同四半期比26.1%減）、営業利益35百万円（同12.0%減）となりました。

#### （不動産賃貸事業）

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は27百万円（同5.4%減）、営業利益12百万円（同13.9%増）となりました。

#### （外販事業）

連結子会社大幸食品㈱が、お客様及び当社にすりごまの製造販売を行っております。

連結子会社ふくおか製麺㈱が、当社の生産する製品を主要販売品目とし、外販を行っております。

当第2四半期連結累計期間における外販事業の売上高は48百万円（同5.1%減）、営業損失22百万円（前年同四半期は営業損失16百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加して604百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は23百万円(前年同四半期連結累計期間は30百万円の獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失が4百万円及び法人税等の支払額が30百万円あったものの、減価償却費が58百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は46百万円(前年同四半期連結累計期間は55百万円の使用)となりました。

これは主に、定期預金の増減額が15百万円、有形固定資産の取得による支出が30百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は84百万円(前年同四半期連結累計期間は200百万円の獲得)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入の純増額によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	55,000
計	55,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	38,730	38,730	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株制度は採用しておりません。
計	38,730	38,730	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	38,730	-	1,002,050	-	799,750

## (6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)テクノバンク・サンケン	福岡県田川郡香春町大字鏡山1632-1	7,375	19.04
緒方 正年	北九州市小倉北区	2,393	6.18
ワイエスフード取引先持株会	福岡県田川郡香春町鏡山字金山552-8	2,000	5.16
緒方 正憲	福岡県田川郡香春町	1,313	3.39
緒方 康憲	福岡県田川郡福智町	1,030	2.66
緒方 秀憲	北九州市小倉南区	984	2.54
大陽製粉(株)	福岡市中央区那の津4-2-22	880	2.27
(有)エムケイ商事	福岡県八女市黒木町湯辺田675-1	712	1.84
(株)西日本シティ銀行	福岡市博多区博多駅前3-1-1	625	1.61
アサヒビール(株)	東京都墨田区吾妻橋1-23-1	479	1.24
計	-	17,791	45.93

(注) 上記のほか、当社所有の自己株式1,400株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合3.61%)があります。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 37,330	37,330	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	38,730	-	-
総株主の議決権	-	37,330	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が2株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

## 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
ワイエスフード株式会社	福岡県田川郡香春町 大字鏡山字金山552番8	1,400	-	1,400	3.61
計	-	1,400	-	1,400	3.61

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	616,230	692,760
売掛金	112,304	109,708
有価証券	10	10
商品及び製品	124,025	113,330
仕掛品	4,152	6,066
原材料及び貯蔵品	24,402	25,657
その他	75,250	77,765
貸倒引当金	718	693
<b>流動資産合計</b>	<b>955,658</b>	<b>1,024,606</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	1,137,982	1,121,342
機械装置及び運搬具（純額）	90,017	80,121
土地	1,566,172	1,566,172
その他（純額）	34,385	29,732
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,828,557</b>	<b>2,797,369</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	39,851	29,888
その他	12,979	11,596
<b>無形固定資産合計</b>	<b>52,830</b>	<b>41,484</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	31,116	35,392
繰延税金資産	104,059	85,711
敷金及び保証金	149,804	140,368
その他	12,256	20,744
貸倒引当金	15,821	15,492
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>281,414</b>	<b>266,725</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>3,162,802</b>	<b>3,105,579</b>
<b>資産合計</b>	<b>4,118,461</b>	<b>4,130,185</b>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	105,158	95,373
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	391,732	428,381
未払法人税等	30,696	14,310
賞与引当金	13,012	19,437
ポイント引当金	5,878	3,896
資産除去債務	1,000	950
その他	237,635	219,747
流動負債合計	985,114	982,098
固定負債		
長期借入金	807,514	855,030
退職給付引当金	77,363	72,930
役員退職慰労引当金	45,850	47,492
資産除去債務	44,308	43,351
その他	108,919	104,313
固定負債合計	1,083,956	1,123,117
負債合計	2,069,070	2,105,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,050	1,002,050
資本剰余金	799,750	799,750
利益剰余金	266,831	238,229
自己株式	29,400	29,400
株主資本合計	2,039,231	2,010,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,159	14,340
その他の包括利益累計額合計	10,159	14,340
純資産合計	2,049,391	2,024,969
負債純資産合計	4,118,461	4,130,185

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,491,220	1,123,019
売上原価	477,758	479,491
売上総利益	1,013,461	643,528
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 1,005,708	<sup>1</sup> 641,133
営業利益	7,753	2,394
営業外収益		
受取利息	447	403
受取配当金	45	44
協賛金収入	496	1,095
違約金収入	517	1,529
その他	3,051	1,947
営業外収益合計	4,558	5,019
営業外費用		
支払利息	9,546	8,817
その他	768	1,072
営業外費用合計	10,314	9,889
経常利益又は経常損失 ( )	1,997	2,475
特別利益		
固定資産売却益	-	54
特別利益合計	-	54
特別損失		
固定資産除却損	<sup>2</sup> 6,499	<sup>2</sup> 415
減損損失	<sup>3</sup> 62,734	<sup>3</sup> 1,273
敷金及び保証金解約損	2,744	-
特別損失合計	71,977	1,689
税金等調整前四半期純損失 ( )	69,980	4,110
法人税、住民税及び事業税	17,059	11,343
法人税等調整額	31,964	13,147
法人税等合計	14,904	24,491
少数株主損益調整前四半期純損失 ( )	55,075	28,601
四半期純損失 ( )	55,075	28,601

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	55,075	28,601
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	301	4,180
その他の包括利益合計	301	4,180
四半期包括利益	54,774	24,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,774	24,421
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	69,980	4,110
減価償却費	71,180	58,565
減損損失	62,734	1,273
のれん償却額	9,962	9,962
貸倒引当金の増減額( は減少)	929	354
賞与引当金の増減額( は減少)	7,736	6,425
退職給付引当金の増減額( は減少)	3,501	4,432
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	2,006	1,642
受取利息及び受取配当金	492	447
支払利息	9,546	8,817
有形固定資産除売却損益( は益)	6,499	360
売上債権の増減額( は増加)	8,845	2,595
たな卸資産の増減額( は増加)	895	7,526
仕入債務の増減額( は減少)	20,813	9,785
その他	3,265	14,742
小計	67,942	63,297
利息及び配当金の受取額	181	452
利息の支払額	10,009	8,812
法人税等の還付額	304	-
法人税等の支払額	27,800	30,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,619	23,972
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額( は増加)	18,020	15,010
有形固定資産の取得による支出	36,631	30,427
有形固定資産の売却による収入	2,181	119
資産除去債務の履行による支出	-	794
貸付けによる支出	1,000	-
貸付金の回収による収入	96	1,026
敷金及び保証金の差入による支出	25	7,193
敷金及び保証金の回収による収入	3,126	4,443
その他	4,924	1,247
投資活動によるキャッシュ・フロー	55,197	46,588
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	450,000	300,000
長期借入金の返済による支出	249,323	215,835
配当金の支払額	27	28
財務活動によるキャッシュ・フロー	200,649	84,136
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	176,070	61,520
現金及び現金同等物の期首残高	454,211	542,538
現金及び現金同等物の四半期末残高	630,282	604,058

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は増加し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ減少しておりますが、金額は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
販売手数料	3,913千円	2,694千円
荷造運搬費	41,414	35,967
役員報酬	32,219	28,843
給与諸手当	440,163	249,073
賞与引当金繰入額	12,901	16,119
退職給付費用	3,266	2,193
水道光熱費	102,233	46,544
減価償却費	46,994	20,135
賃借料	109,721	66,044
ポイント引当金繰入額	6,396	3,896
役員退職慰労引当金繰入額	1,353	3,972

2 固定資産除却損の内容及び金額は次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

固定資産除却損の内容は、機械装置及び運搬具4,362千円ほかであります。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

固定資産除却損の内容は、建物及び構築物415千円であります。

### 3 減損損失

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

用途	場所	種類	減損損失(千円)
ラーメン店	愛知県豊橋市	建物及び構築物	12,054
	愛知県岡崎市	建物及び構築物	13,774
	神奈川県小田原市	建物及び構築物 機械装置及び運搬具・その他	8,655
	山口県周南市	機械装置及び運搬具・その他	1,695
うどん店	福岡県北九州市	建物及び構築物	15,404
スイーツ店	福岡県北九州市	建物及び構築物 機械装置及び運搬具・その他	11,149

当社グループは、店舗等については継続的な収支の把握を行っている単位を、遊休資産については各資産単位を一つの資産グループとしております。

また、その他の連結子会社は一つの単位としてグルーピングしております。

その結果、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである店舗における資産グループのほか、閉店が確定した店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（62,734千円）として特別損失に計上いたしました。その内訳は、建物52,475千円、構築物1,094千円、機械装置4,498千円、その他4,666千円であります。

なお、回収可能価額は使用価値によっており、使用価値については、将来キャッシュ・フローを2.7%で割引いて算定しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

用途	場所	種類	減損損失(千円)
ラーメン店	佐賀県三養基郡	機械装置及び運搬具・その他	373
	宮崎県日向市	建物及び構築物 機械装置及び運搬具・その他	561
	山口県防府市	機械装置及び運搬具・その他	136
	長崎県長崎市	機械装置及び運搬具	42
	福岡県遠賀郡	その他	159

当社グループは、店舗等については継続的な収支の把握を行っている単位を、遊休資産については各資産単位を一つの資産グループとしております。

また、その他の連結子会社は一つの単位としてグルーピングしております。

その結果、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである店舗における資産グループのほか、閉店が確定した店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（1,273千円）として特別損失に計上いたしました。その内訳は、建物360千円、機械装置439千円、その他473千円であります。

なお、回収可能価額は使用価値によっており、使用価値については、将来キャッシュ・フローを2.2%で割引いて算定しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	721,966千円	692,760千円
預入期間が3か月を超える定期預金	91,694	88,711
取得日から3か月以内に償還期限の到来する 短期投資(有価証券)	10	10
現金及び現金同等物	630,282	604,058

(株主資本等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	1,410,229	29,071	51,098	1,490,399	821	1,491,220	-	1,491,220
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,669	78	1,939	7,687	-	7,687	7,687	-
計	1,415,898	29,149	53,038	1,498,086	821	1,498,907	7,687	1,491,220
セグメント利益 又は損失( )	40,061	10,866	16,247	34,680	73	34,754	27,000	7,753

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 27,000千円には、セグメント間取引消去2,946千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 29,946千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、62,734千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	1,042,455	27,503	48,503	1,118,462	4,557	1,123,019	-	1,123,019
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,971	78	1,777	7,827	-	7,827	7,827	-
計	1,048,427	27,581	50,281	1,126,289	4,557	1,130,847	7,827	1,123,019
セグメント利益 又は損失( )	35,250	12,377	22,887	24,740	630	25,370	22,976	2,394

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 22,976千円には、セグメント間取引消去614千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 23,591千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、1,273千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額( )及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	1,475円38銭	766円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額( )(千円)	55,075	28,601
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円)	55,075	28,601
普通株式の期中平均株式数(株)	37,330	37,330

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載してありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

ワイエスフード株式会社  
取締役会 御中

### 三優監査法人

代表社員 業務執行社員	公認会計士	杉田 純 印
代表社員 業務執行社員	公認会計士	吉川 秀嗣 印
業務執行社員	公認会計士	堤 剣吾 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているワイエスフード株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ワイエスフード株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。